

知事と区市町村長との意見交換会(八丈町)

令和2年9月16日(木)

15時40分～16時00分

○**行政部長** それでは意見交換を始めさせていただきます。はじめに知事から一言、お願いいたします。

○**知事** 町長、小池でございます。まず今日、御苦勞様でございます。ちょうど八丈の方でコロナウイルス感染者が出て、そして様々検査も行っているというところでありまして、島だけに皆さん御心配のことも多いかと思えますけれども、特に町長、町民に寄り添った対策を現場で取っておられること、本当に御苦勞様でございます。

そして一方で、ウィズコロナの社会も作っていかなければならないということで、東京都としてもこの難局を共に打ち勝っていくという、そのために新しい日常やサステナブル・リカバリーという、新たな視点からの長期戦略を今策定しているところであります。

それからコロナウイルスの問題については、未来の東京を切り開くためにはまず現場である皆様方、山下町長をはじめとする皆さんと連携しながら、オール東京で打ち勝っていかなければならないと考えております。

今日はそういった点で長期戦略関係、それから来年度予算、喫緊の課題、それぞれ現場の声を聞かせていただければと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

○**八丈町長** よろしくよろしくお願いいたします。

○**行政部長** それでは山下町長、お願いいたします。

○**八丈町長** それでは早速でございますけれども、はじめに5月に八丈町から要望させていただきました、都立八丈高等学校における特別な支援を必要とする生徒受け入れにつきましては、早急に前向きに検討を進めていただきまして、誠にありがとうございます。

八丈町の新型コロナウイルス感染症の現状といたしましては、昨日までの感染者は7名となっております。感染者の都内病院の確保や島外搬送につきましては、東京都の御尽力をいただきまして、感謝しております。

町では9月補正までの予算付けでございますが、島民及び島内事業者が少しでも安心して安全な暮らしができるよう、6か月間の水道料の補助を実施してございます。

また、島内での感染予防対策としまして、国や東京都の補助金を活用した施設整備等を実施する事業者の自己負担分に対しまして上乗せ補助や、東京都で行っている感染防止徹底ステッカーを掲示してございます事業者に対しまして、感染防止を継続していくための負担軽減のため一律10万円の補助を行い、まずは感染予防を徹底したいと考えてございます。

また、アフターコロナ対策としまして、実施時期を慎重に見極め、観光業の復興へ向けた集客に向けての予算を計上してございます。

本日の意見交換会につきましては、はじめにやはり新型コロナウイルス感染症について

でございますが、これは季節性のインフルエンザの時期を迎えるため、新型コロナウイルス感染症と並行していくと予想されます。町民の安全のため、インフルエンザの予防接種を受けることは有効な施策と思われまます。インフルエンザの予防接種を受けやすい体制づくりには、自己負担の軽減が必要ですので、是非とも御支援をお願いしたいと思います。

また、既に感染者が出ており、保健所と連携しての対応を行っているところでございますが、今後も一層の連携強化をお願いしたいと思っております。

島民は新型コロナウイルスに感染してしまいますと、島外搬送してからの治療となるため、大きなリスクを抱えてございます。将来的に新型コロナウイルス感染症のワクチン接種が実施できる状況になった暁には、医療体制が脆弱な島しょ地域を優先的に実施できるよう、御配慮をお願いしたい。

次に今年度東京都で実施しました、東京都市町村新型コロナウイルス感染症緊急対策特別交付金についてでございますが、本交付金は国の新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金に比べまして、制限もなく町の施策の財源として非常に活用しやすく、大変ありがたいのでございますが、単年度事業となっております。

本年度はコロナ対策に要する経費も総合交付金の一部で支援していく方向になっていくと思われまますが、総合交付金には充当制限があるため、町の本当の財源不足を補填することができないことが予想されます。今の状況では新型コロナウイルスがいつ終息するか分からない状況のため、本交付金も次年度も継続していただきたいと考えております。

最後に、今月都市計画決定を受けまして、今年度より本格的に建設事業に着手いたします焼却場、新クリーンセンター建設についてでございます。

令和6年度の供用開始を予定してございますが、建設費に約45億円の負担が出てございます。材料費の運搬費、また作業員の滞在費等、離島であるがため工事費が割高となっております。45億円の支出は町の財政規模に対しまして、あまりにも大きく今後の町の財政を逼迫させ、他の事業に大きな影響が出ます。

コロナの影響を受けまして今後工事費の増加も予想されるため、本事業に対しまして特段の財政支援をお願いしたいと思います。以上でございます。よろしくお願ひいたします。

○行政部長 どうもありがとうございました。それでは知事からお願いいたします。

○知事 現在陽性者7名、そして濃厚接触者の検査の結果を待っておられるような状況で、コロナ対策というのは目の前の課題であり、大変御苦労されていると思われまますが、また是非町民の皆さんもよく理解されて、このコロナに対しまして御協力を引き続きよろしくお願ひいたします。

それからちょっと前後するかもしれませんが、今お話の中に、これからインフルエンザの季節を迎えた時のことも懸念されているということではありますが、やはり重症化リスクが高い高齢の方々には、特にインフルエンザに対しても対応していかなければいけないということで、高齢者等が季節性のインフルエンザの定期予防接種を受けられる際は、幾らか負担していただくかなければいけないと、そのようなシステムにこれまでなっていたので

すが、このインフルエンザとコロナとダブルで来ますと、かなり本人にとっても、また地域にとっても危ないということから、個人が負担する実費の軽減ということで、その点を町の方の支援をさせていただきます。是非高齢者の方、また 65 歳以上を指しますけど、60 から 65 までのところで既往症、持病のある方等に対してのインフルエンザの予防接種、これは個人負担がないということになります。是非そういう意味で、予防接種を受けていただくことで重症化リスクを減らしていきたい、そう考えています。

それからコロナウイルスの陽性者を抱えておられるということで、改めて情報の集約であるとか、関係機関の連携のスピード感を持たなければならないということをお感じになっているかと思います。極めて重要な話だと思えます。

保健所、そして町村が連携して、感染情報等速やかに掌握、把握をして、共有をしていくということで、適切な検査の実施を行う等、これまで以上に感染拡大の防止に努めて参ります。

それから対コロナのワクチンが確保できるのかどうかという御心配もありました。まだワクチンそのものが世界的にも確実なものについては出てきていないと聞いておりますけれども、しかしながらそのワクチンが出来た暁には日本としての確保、そして東京におけるこのワクチンの確保ということを進めて参ります。

それからワクチン接種の優先順位等の考え方については、国のコロナウイルスの分科会がありますが、そこで議論をされているということで、こうした動きを注視しながら検討を進めていきたいと思えます。

同じくコロナウイルスですけれども、これについて皆さんいろいろ対策を講じておられるわけで、総額 100 億円の特別交付金を都として国に先駆けて創設しておりまして、4 月中に交付をさせていただきました。適切な支援を引き続き行っていきたいと考えています。

最後はごみ焼却施設でありますけれども、新クリーンセンターについては町の規模、それから用途に応じた施設整備が導入されるというふう聞いております。都としても引き続き施設の計画、そして設計等について、技術的な支援を行います。また、整備に当たっても、国と連携しながら財政支援を行う考えであります。コロナの関係で事業費がかさんでいくという話ですけれども、適切な財政支援を行う。そのための国との調整をしていきたいと考えております。

まずはコロナ対策をしっかりやっていただいて、当方としての支援を行って参りたいと考えております。長期戦略、そして予算編成、これら今日の山下町長からの直接のお話に検討して取り組んでいきたいと考えております。

フリージアから、黄八丈から、観光資源にも大変恵まれている八丈であります。是非これからも持続的な発展に繋げていきたい。そのためにはコロナという国難を共に乗り越えるように努めて参りたいと考えています。今日はありがとうございました。

○八丈町長 ありがとうございました。よろしく願いいたします。

○知事 よろしいですか。

○行政部長 はい。それでは以上で意見交換会終了させていただきます。本日は御多用のところ、どうもありがとうございました。

○八丈町長 ありがとうございました。